

# 目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第46号 2010年 3月

発行人：八幡和三郎 編集長：服部 尚彦 事務局長：吉田 博行  
事務局：〒153-0053 目黒区五本木2-47-5 Tel 03-3713-2096

## 2010年 新年会 盛大に開催

2010年1月16日(土)、こまばエミナースにおいて78名出席のもと、目黒稲門会新年会が盛大に開催された。

### 第一部 講演会

講師 松平定知氏

演題 「その時歴史が動いた—取材ノート」

松平氏の講演は、興味のある話題が多岐にわたっているが、此处では要旨は以下の通りであった。

私は、昨日仕事で北陸の芦原温泉に居た。豪雪の中、京都経由サンダーバードで行ったが、これが京都着で既に小1時間遅れ。敦賀辺りから横殴りの大変な雪となり、更に遅れて到着。結局この雪の季節に芦原温泉に行って、温泉にも浸らず、雪見酒も飲まず、蟹も食わずにトンボ返りをして来た。それは全て今日の講演のためであった。

### 1) NHKの長寿番組

- ① 志の輔師匠の「ためしてガッテン」
- ② 国谷裕子女史の「クローズアップ現代」
- ③ 松平定知氏の「その時歴史が動いた」

NHKには例えば「ノド自慢」、「今日の料理」とか「みんなの歌」など50年～60年続いているおけい番組があるが、「一人のキャラクター、一人の司会者が、その一人の人の為のタイトルを持った番組を放送して13年、14年」というのは全く稀有な例と思う。科学番組の延長線上で「ためしてガッテン」になってから常時12～13%の視聴率を頂いているのは素晴らしい。

国谷裕子さんの「クローズアップ現代」は毎日で、今日は国際問題、明日は日本の政治の問題、明後日はパチンコ問題とか色んな問題を処理する訳で、これは歴史に残る名番組と思う。



この「クローズアップ現代」、「ためしてガッテン」の次にランクアップされていたのが「その時歴史が動いた」で、これは9年続いた。ご存知の通り志の輔さんは落語家、国谷さんは一主婦の立場でNHK外の方であるが、私はNHKの職員で2007年11月(誕生月)に定年退職した。優秀な後輩が沢山いるのに、1人の人間が1つの番組を独占するのは良くないし、年度途中で司会者が変わるのも良くないので、2007年4月から辞めると言ってきたが、なかなか区切りがつかず、昨年3月25日に最終回の放送をした。一番良い時に辞めさせて頂いたと思う。引き時は大変難しく、「本当にやめちゃうの」と言う雰囲気の方に辞められたのが良かったと思う。

### ④ 鈴木健二氏の長寿番組

私の番組の前に、NHKの歴史番組というのは30年くらい続いていた。その中の最長不倒距離は鈴木健二さんの「歴史への招待」で5年2ヶ月続いた。後発の歴史番組担当者は鈴木健二さんの番組に追い付け、追い越せを目標にしていたが、必ずしも報いらなかった。その中で皆様方のご支持を頂き、これを越えたの



が「その時歴史が動いた」であった。支持された理由は歴史的事件が起こった現場に必ず行って、現場の匂いを嗅ぎながら何等かのメッセージ発することで現場を大切に、スタジオで小手先の処理をすることを避けてきたことにある。

## 2) 視聴率

テレビの視聴率は大切に疎かに出来ないが、それ以上に大切なのが視聴者の皆さんからの信頼である。「その時歴史が動いた」の最高視聴率は16.7%、日本の人口を1億人としても実数は1千6百70万人。この方々が関心を持って私の番組を見て頂いたことになる。

## 3) タイトル

何事も何かをやる為にはタイトルは非常に重要である。その意味で「その時歴史が動いた」というタイトルは出色であった。新聞発表の前日まではこのタイトルは「その日歴史は動いた」であった。大阪放送局長が寸前にこのタイトルを見て「その時歴史が動いた」と変更した。「その時」というとその瞬間を鮮明に印象づけ、その周辺をザックリと伝えられ、しかも嘘にならない。日本語の深さを思い知った。日本語の持つ素晴らしさであり、このタイトルが大成功をした例である。

## 4) 歴史

歴史は古臭いと思っている人が多いが、古いが古臭いものではない。先日“箸墓古墳”が卑弥呼の墓らしいという研究結果が出たとの報道があった。反対の立場の人もいるので慎重でなければならないが、歴史は毎日変わる新しいものだという考えに立とうとしていた。

過去に起こった出来事は誰でも皆知ることは出来るが、その時の状況を見た人はいない。歴史は往々にして勝者が語ったものでフィクションを交えてしまう。歴史は年代ではなく、数字でない。斬られれば血の出る人間のドラマであるとあの番組を通じて訴えたかったのである。

松平講師の話は、来年放送のNHK大河ドラマの主人公「おごう（江）の方」の母親「お市の方」に移り、戦国時代の近隣諸国との争いを交え、極めて興味深い話となったが、紙面数にも限りがあり、残念ながら省略させて頂く。

## 第二部 懇親会

引き続き石川智子幹事の司会により懇親会に入り、体調不良で欠席の八幡会長に代わり、浅見幹事長の挨拶があった。

青木英二目黒区長の来賓挨拶に続いて、松戸相談役の発声にて乾杯し、歓談に入った。

歓談が進む中、恒例となった目黒稲門会公式行事（新年会、総会）に初参加の井上雅乃、影山信輝、地田博昌の3会員の紹介と挨拶があった。途中で荒瀬修一郎相談役、手塚仁雄、伊藤 悠、松田哲也 各会員が駆け付け一言挨拶をした。

中締め時間が近付き、今回初めてリード役で登場した松田哲也会員の采配で全員肩を組み校歌を熱唱した。

次いで、当会が愛用させて頂いていた本会場「こまばエミナース」が諸般の事情で閉館となることから、会場の利用に当って色々便宜を図って下さった飯野館長から御挨拶を頂いたのに対し、当会より感謝を込めて、大竹幹事から花束の贈呈をさせて頂いた。

最後に保井副会長の中締め挨拶をもって盛会裡に閉会した。  
島田 記



司会者 石川智子幹事

## 新年会出席者名簿（敬称略、五十音順）

（来賓）

青木英二・目黒区長、松平定知・講師、

（会員）

浅海敏之、阿部喜久雄、荒瀬修一郎、安藤虎雄、石川智子、石川純子（母上）、市瀬達夫、市瀬一江、伊藤 悠、稲垣博信、井上雅乃、井村正陽、岩佐好恭、岩佐幸子、岩崎春雄、岩瀬 暁、鶴野洋治、海口昭治、大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、大野利幸、大野幸子（夫人）、大山高明、小倉利允、尾崎 充、小野 満、海沼美智子、影山信輝、笠谷興一郎、柏木 博、加藤榮護、川井信義、川崎真樹子、木村昭一、紀本直幸、桑野祐光、小池早苗、郡山弘文、郡山富子（夫人）、小杉 哲、後藤克彦、桜井輝隆、佐藤喜孝、島田久家、庄野 耕、鈴木政雄、田島順一郎、田畑 繁、地田博昌、千野逸平、手塚仁雄、外岡 明、外岡ルリ子（夫人）、中島侑三、長島清志、永田耕治、中西元樹、服部尚彦、服部弘子（夫人）、林田雅敏、林田敏子（夫人）、樋口定廣、樋口俊彦、堀井良造、牧野武夫、松田哲也、松戸 猛、村上 枢、村上 満、森家一三、保井 正、吉田成孝、吉田博行、米田文彦、大橋ヒデ子（友人）

## 会員各位

### 訃 報

予ねて病氣療養中の 八幡 和二郎 本会会長は甲状腺癌のため2月6日午後10時58分逝去されました。（享年75歳）ここに謹んでご報告致しますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

尚、葬儀は2月11日、12日に喪主 八幡 禎子（やはた ていこ）様（ご令室）の元、目黒区中目黒の正覚寺でしめやかに執り行われました。

目黒稲門会事務局 吉田 博行

# 目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第45号 2009年12月

発行人：八幡和二郎 編集長：服部 尚彦 事務局長：吉田 博行  
事務局：〒153-0053 目黒区五本木2-47-5 Tel 03-3713-2096

## 2010年 新年会開催の御案内

2010年新年会を1月16日(土)こまばエミナー  
スにおいて下記の通り開催致します。

恒例の第一部講演会では、NHKのキャスターと  
して、また「その時歴史が動いた」「NHKスペシ  
ャル」のキャスター等で活躍中の松平定知氏をお招  
きして、新春に相応しいご高説を拝聴することと  
致しました。

今回は同じ早稲田の校友で、本会幹事の後藤克彦  
氏と親しい間柄というご縁もあり、特別に無理を  
お願いしたところ、多忙の中にも関わらず快諾を  
頂くことが出来ました。

松平氏からは多くの経験に裏打ちされた極めて  
興味深いお話が伺えるものと期待されます。御家  
族を含めて多数の会員皆様の御参加をお待ちして  
おります。

特に、これまで会費を負担されながら何れの会  
合にも出席されなかった会員の皆様には、気楽に  
参加して多くの校友と知り合い、リタイアメント・  
ライフの充実を図る良い機会と思われまます。受付  
では歓迎してお迎えする様に手配しておりますの  
で、我々も最初はそうでしたが、思い切って顔を出  
して見るか、とのお気持ちで是非お出かけ下さい。

### 記

- 日時：2010年1月16日(土) 16時開会  
(受付開始 15時30分)
- 会場：こまばエミナーズ(3階 鳳凰の間)  
東京都目黒区大橋 2-19-5  
電話：03-3485-1411  
井の頭線駒場東大前駅、下北沢寄り  
改札口から南方向へ徒歩7分
- 講演会：16時～17時  
講師：松平定知氏  
演題：『その時歴史が動いた—取材ノート』



### 4. 講師 松平定知氏の略歴：

昭和44年早稲田大学卒。同年NHK入社。同年高知  
放送局。昭和49年東京アナウンス室。平成19年11  
月定年退職。「連想ゲーム」「日本語再発見」など番組  
司会を経て、朝と夜の7時のTVニュースなど、ニュー  
ス畑を15年。「その時歴史が動いた」を9年。NHKス  
ペシャルは100本以上。この他、昭和史報道、湾岸戦  
争、各種選挙開票速報、海外大型企画生中継など特番  
多数。現在早稲田・立教 大学院客員教授。ANA 歴  
史大使。著書に、『歴史を「本当に」動かした戦国戦  
将』(小学館・101新書)『松平定知が選ぶ「その時歴  
史が動いた」名場面30』(三笠書房)ほか多数。

なお、同氏は徳川家康の異父弟・久松定勝を祖父と  
する久松松平家の傍流の末裔とのことです。また、  
松平氏は嘗ての「ミスターNHK」「一寸キザですが  
…」で活躍された磯村尚徳キャスターとは従弟にあたる  
由であります。

- 懇親会：17時～19時
- 会費等：会費 8,000円(同伴家族5,000円)  
当日会場受付にてお支払い下さい。
- 送迎バス：当日会場まで以下の送迎バスを運行  
いたしますのでご利用下さい。  
①目黒駅発 15時10分  
JR東口、目黒通りみずほ銀行前付近  
②中目黒駅発 15時20分  
東横線東口、山手通り「TSUTAYA」前
- 同封の返信用はがきを12月19日(土)までにご  
返送下さい。なお、送迎バスをご利用の方は葉書に利  
用バス番号、①または②と明記をお願い致します。

(島田 記)